



Friendship & Exchange

スコットランドの風



2013年9月27日英國大使館にて第1回『日本スコットランド交流協会』総会開催。

爽やかに晴れた日に
第1回『日本スコットランド交流協会』総会が荒井健太郎氏の司会でスタート。現JSA会長の鵜野一成氏が開会の辞を述べ、議長に山口謙治氏、書記に木村拓平・野間忠博両氏を選出。出席会員者総数89名と委任状も含め「総会成立」と前原正人氏より報告されました。

鵜野会長から2012年10月27日に、日本スコットランド交流協会がスタートして現在124名もの会員数となるとの発表があり、今までの活動報告と会計報告をし、それを受け監査報告を野間氏が発表。鵜野会長より、協会を「関西から東京に移管する」と発表。今後NPO法人化を進めるために新会長として関妙子氏を選出。財産目録等の全権をNPO法人へ移管する。最後にスコットランド関連団体への謝意と益々のご支援ご協力をお願いし、全ての議案の承認を得て満場の拍手で審議を終了しました。



ド交流協会という松明に集う人々に新しい精神が生まれ、世界を広げていく。ぜひ一緒に高い志を持って進んで行きましょう!」との発声がありました。定款の説明を荒井氏より要点のみ報告。本部を東京に、支部を関西、中国、九州に置く。迅速な決定をするため理事会に多くの権限をもたせること等を簡潔に報告し承認を得ました。資産状況説明を前原氏より発表。続いて特定非営利活動法人(NPO法人)の成立日より平成26年3月31までの事業報告を。最後に活動予算書の説明をし、新年度は、東京都から認証された年度月からスタートとなる旨、山口議長より発表されました。

最後に、荒井氏が法人設立認証申請にともなう5つの注意点を発表。社会的責任、行動規範に関して山口議長より話があり、閉会の挨拶を新任理事の片桐宏典&ケイト・トムソン夫妻がスピーチされました。「日本人とスコットランド人は似ている所がとても多い。我々は基礎を作ります。これからは若い世代に頑張って欲しい! どうぞよろしくお願ひします。」とのスピーチにて18時15分、日本スコットランド交流協会総会を満場の拍手と共に閉会いたしました。



特定非営利活動法人『日本スコットランド交流協会』設立総会へ移り、新会長・関妙子氏より発声。日本の近代化に尽力されたスコットティッシュや義務教育の発祥国として、日本ではあまり知られていない。私は「日本とスコットランドに架け橋をかけたい!」今後一層「強固な架け橋にしよう!」。事業的には、すでに留学生を1名輩出。またジャパニーズウイークの成功等を話されました。山口議長より「日本スコットラン

法兰ク・ハンターさん

* スティーブン・ベーカーさんは、スコットランド国際開発庁の日本代表。ジェフ・ストリーターさんはブリティッシュ・カウンシルの代表です。

「螢の光」を競演される
法兰ク・ハンターさん & 山内 達哉さん
その後の懇親パーティは、とても楽しく、賑やかでした。 (の)

新たな交流を願って 会長 関 妙子



第一回目のNewsletter発行に当たり、会員の皆様にご挨拶させていただけたことにこの上ない幸せを感じています。スコットランドと日本との「眞の交流」を図るという目的、すなわち両国間に、人びとが常に双方向から行き来できる橋を架けるという明白な目的を持った会を作るべく、昨年10月末、同じ志を持った方々と本協会を立ち上げました。それが『日本スコットランド交流協会』です。

明治維新後の日本の近代化の過程において、土木、下水道整備、灯台建設など、技術的な面で大いに貢献をしたのは、スコットランドの人々でした。明治初期には、日本から、土木、ウイスキー醸造などをスコットランドに学びに行っています。このように歴史上、両国間には強い絆があります。そのような強い絆を基盤として、本協会を通じ、現代の新たな交流が築かれることを願っています。

この1年間で140余名の方が会に参加されました。ビジネス、学術など多岐にわたる分野で活躍される様々な年齢層の方々が、日本から、そしてスコットランドから参加されています。これら会員の皆さまのご協力により、本協会の活動が、活力あふれるものになっていることを実感しています。その甲斐あって、設立から1年を待たずして、奨学生をスコットランドに送りだすことができましたし、10月22日にはNPOの申請も済ませることができました。皆様のご尽力に対し、とても感謝しています。スコットランド政府の出先機関であるスコットランド開発庁（SDI）からは、本協会設立の主旨を理解いただき、全面的なご支援をいただけています。総会では、SDIのJapan Headで名誉会員でもあるスティーブン・ペーカー氏から、本会員になるという嬉しい宣言もありました。私自身、この20年間、スコットランドにあるスコットランド大学を頻繁に訪れ、毎年約3ヶ月をスコットランドで過ごしていますし、6年前には、スコットランド政府から、グローバルスコット（"Global Scot"：ボランティアとして世界各国でスコットランドのために働く人々）に任命されました。この経験を踏まえ、会員の皆様とスコットランドを結ぶために、できるだけのお手伝いをしようと思っています。現在、2014年3月下旬にスコットランド大学で開催される"Japanese Week"というイベントに向けて「スコットランド・ツアー」を企画し、会員の方々に参加を呼び掛けているところです。最後に、現在、本協会の活動が順調に進んでいるのは、鵜野一成初代会長によるご努力の賜物であり、鵜野会長に感謝申しあげる次第です。会員の皆様と共に、魅力的な会を作り上げて参りたいと思っております。

風の道 副会長 山口 謙治



静かに耳を澄ますと、風は止むことはない。何時の時も、いたる所で風は人々の旺盛な好奇心に囁きかけ、未知への旅に誘った。その旅は、古来豊かな富の交易を生み出し、刺激的な文化交流をもたらした。

風は、心を傾ければ傾ける程強く吹く。マルコポーロはシルクロードの砂漠の上で、異国の風の声を聴いた。マゼランは帆に一杯の風を受けて、未知の航路を切り開いた。私たちは、失敗を恐れず、子供のように好奇心豊かに心の窓を開くことだ。そして、風の道に身を託すことだ。

そう、風には風の道があることを、ご存じだろうか。春一番、海辺に立てば、おびただしいカモメが風の道に沿って流れるように帶を成す。鳥たちは、風の道を心得ている。風の道に乗り、遙かに国境を越えて国々を渡って行く。人もまた、同じだ。

交流の意味は何時の時代でも大きい。異なる文化に尊敬を払い学び、またこちらの文化を伝える。人は自由であり、平等である。協会がプリンシプルを堅持し、この風の道とならんことを願う。

JSA創設から1年 元会長／監事 鵜野 一成



どうしてもスコットランドとの交流を積極的に行い、多くの若い人に参加していただき、そして若い精神と夢を持つ団体を作りたいと、去年の10月27日に現役員の野間さん、関さん、難波さんとスタッフの強い意志、後押しの元、JSA（日本スコットランド交流協会）を立ち上げました。それなりの自信はありましたけれど、この一年の成長はどう申し上げていいのか、まさかこんなスピードは想像しませんでした。本部、支部の皆様の多忙な中での献身的な働きに感謝の言葉も見つかりません。

この度、東京に本部を移し、関妙子新会長を中心に新しい体制になってその勢いは加速しています。今のJSAは「成長が速すぎて“ひざ”が痛い」という子供のようです。スコットランド関係者、団体との結びつき、協力はますます増えていきそうです。

どうぞご期待ください。

ともあれ、私としては会長の期間が約1年という短い間でしたが、皆様の心強いご支援、本当にありがとうございました。

理事就任にあたって 理事 香川 久生



この二十年ほど毎年スコットランドを旅しております。壮大なハイランドの山や海の風景、穏やかなローランドの田園の情景、興味深い歴史の遺物である城や聖堂の廃墟、その崇高さに触れて旅するごとにスコットランドに魅せられてきました。この度、このスコットランドの魅力に捉われた一人として、理事という大役を拝命することになりました。JSA設立の目的は、日本とスコットランドとの文化、学術、ビジネスなど、あらゆる交流を図ることとなっていますが、今の私の役割はこのJSAの活動を若い人たちに橋渡しをして行くことと思っております。いかに若い人たちを引き付けられるような活動ができるか、そのためにはまずは参加してみようという気を起こさせるような楽しい企画が必要でしょう。そして、それを実行して行くにはマンパワーが必要です。そのためには、何といっても若い人たちとのチャンネルを構築することが肝要かと思います。私の現状ではかなり限界があるのですが、いろいろと努力をして行きたいと思います。今まで、唯ひたすらスコッチウイスキーを愛飲していただけの男ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新任のご挨拶 理事 山形 倫弘



ただのウイスキー好きに過ぎなかった私がスコットランドに興味を持つようになったのは、数年前にウイスキーコニサー試験に挑戦しようとしたまま思ったのがきっかけでした。歴史・地理・文化や風土等の周辺知識までその出題範囲に含まれていたため、やむなく一通り学ぶハメになってしまったのです。すると今度は逆にそちら方面への興味が自然と湧きあがってきました。そんな折、先輩諸氏に誘われて、関西での活動に参加し、会のお手伝いをさせて頂いてました。会の皆さんとの出会いを通じて、スコットランドへの興味をもつ契機は、個々人毎にいろいろあるんだなあと改めて感じる共に、世代や視点の異なる方々と交流できることも、会の楽しみの一つになってます。スコットランドに何らかの形で興味を持つ方々が自由に集い交流できるオープンな組織として、この協会の存在意義は大きなものだと考えます。私自身は、まだまだスコットランドに詳しいというわけではないのですが、微力ながらも会の発展に向けて貢献していきたいと思いますので、是非よろしくお願いいたします。

中国支部長として 理事 木村 拓平



英国からビールを輸入するにあたり、英國全土を訪問・滞在し、色々な方々と交流をさせて頂く中で、スコットランドの魅力、その文化の奥深さや楽しさ、ロマンあふれる壮大な土地や、そこに住む人々の暖かさに魅了されてしまいました。時を同じくして、私が住む中国地方にも、スコットランド出身の方や、様々な形でスコットランドと関わりを持つ方が沢山いらっしゃる事を知りました。キルト・パイプ・ダンス・バグパイプ・ウイスキー……このように沢山の素敵なお会いを頂けたのも、スコットランドとの関わりのおかげだと、感謝しております。日本とスコットランドの交流、中国地方におけるスコットランド文化の広がり、そして、その中に新たに生まれる、人と人との素晴らしい出会いに微力ながらも、貢献していかなければと思っております。JSA中国支部は、スコットランドを愛する人間のコミュニティとして、そして、スコットランドの素晴らしさを、より多くの方々に知って頂くため、少しずつですが、活動を深めていきたいと思っております。

皆様、今後とも、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

人との出会い 理事 前原 正人



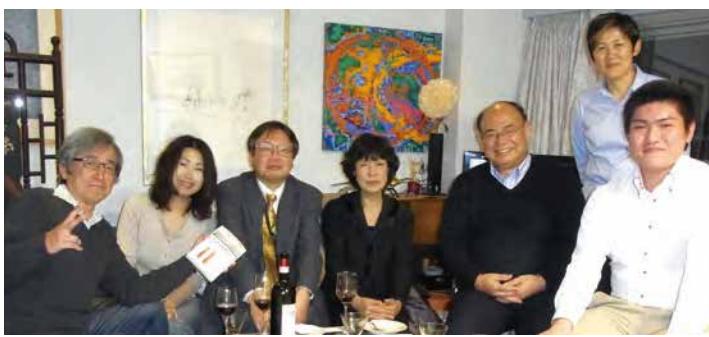
私がスコットランド大好き人間になったきっかけは関会長との「出会い」でした。さらにその「出会い」はスターリング大学と宮崎公立大学との学術協定、宮崎でのバグパイプのマーチングという夢のような出来事の実現につながっていました。私個人も歴史的な日本とスコットランドのつながりに新たな発見がありました。九州の長崎県の観光スポットで全国的に有名な「グラバー邸」で有名なトマス・ブレイク・グラバーの出身地が、スコットランド東部の街、アバディーン市だと知った事です。私見ではありますが、彼が日本にいなかつたら、坂本竜馬の海援隊、及び三菱財閥は存在しなかったのは間違いありません。「人との出会い」はともすると、その後のその人の人生を大きく変えうる事を私は実感しています。

一昨年から毎年、UK・アイルランド共和国を訪れていますが、そのたびに改めてスコットランドの魅力を再発見しています。

日本スコットランド交流協会会員の皆様が「人との出会い」に気づき、その出会いから新たな経験を得、大いに楽しまれるよう願っています。



英国大使館でのJAAUS同窓会会場にて 2012年11月16日 写真左から、スターリング大学長 ジェリー・マコーマック氏、ケリー・ブライソン氏、片桐、鵜野。そして、卒業生たちと一緒に



第1回 スタッフ・ミーティング 2012年12月2日 日本スコットランド交流協会・東京本部にて
写真右から、荒井、柴田、山口、関、難波、大工園、野間

Bridges to the Future 理事 ケイト・トムソン



I am a Scottish sculptor married to the Japanese sculptor Hironori Katagiri.

Just after we met during a sculpture symposium in Scotland Katagiri persuaded me to visit him in Japan by organising a solo exhibition for me in Sendai, and I quickly fell in love with Japan as well as with him.

Over the last 25 years experiencing different perspectives and perceptions in Japan and recognising the common ground between the two cultures has been vital in developing my ideas and skills for making sculpture.

Japan and Scotland have had a close relationship since the role Scottish engineers played in the Meiji revolution. As I have benefitted from the many bridges built on these strong foundations I feel a responsibility to help maintain and develop them. I would like to encourage young people to take advantage of the international opportunities these connections offer as you will be the future “engineers” keeping them alive and opening new gateways. Kate Thomson

なぜスコットランドか 理事 片桐 宏典



初めてスコットランドを旅した80年代、エジンバラからハイランド、西海岸、オーカニー島などをバイクで廻り、身を切る荒々しくも切なく美しい自然と共存する数々の貴重な古代中世遺跡、その豊穣な文化に感銘した。それとは対照的に、かつて工業革命に成功して世界を我が物顔で闊歩したダンディー、グラスゴーなどの各都市は見る影もなく荒れ、失業者で溢れかえる街中には、泣き叫ぶ老婦や酔ってケンカする若者、不況に喘ぐその変わり果てた姿は痛々しく私の目に写った。

しかし、三十年後の今、スコットランドはその傷跡すら残らぬ回復を遂げた。変遷する時代に人々は熱意と優しさを失わず困難を乗り越え新しい社会を生み出す。政府から草の根の民間組織に至るまで、体内に躍動する血液のように現在の英国の興隆を支えて来たのは、このスコットランドの人々に他ならない。

人ととの交流をこそ大切にしたい。

JSA 理事・監事・スタッフ一覧表



会長 関 妙子

副会長 山口 謙治

東京本部長

理事 木村 拓平

中国支部長

理事 難波 茂信

関西支部長

理事 前原 正人

九州支部長

理事 香川 久生

関西支部長代行

理事 ケイト・トムソン

理事 山形 優弘

理事 片桐 宏典

監事 鵜野 一成

監事 野間 忠博

東京スタッフ

大工園 佳代 (事務局長) 真々田 紫 (編集)

柴田 文子 (経理) 小嶋 冬子 (イベント)

荒井 健太郎 (IT) 幸地 康子 (イベント)

濱田 真梨子 (名簿管理) レナート・リベラ (イベント)

関西スタッフ

中川 ますみ (編集)

九州スタッフ

富永 吉人 (総務全般)



日本スコットランド交流協会 主催 第1回「スコットランド・ツアー」へのお誘い

JSAの会員の方のためにScotlandへの旅を企画しています。日時:2014年3月20日~29日 費用:30万円前後(渡航費+宿泊:スターリング大学関係施設+諸経費を含む)/訪問先:スターリング大学(25日~27日開催のJapanese Weekに参加、見学)・エディンバラ(世界遺産都市)・グラスゴー・ネス湖(一泊旅行3月22~23日)・ウイスキー醸造所訪問等。全行程参加できない場合、早期帰国も可能。途中参加も受付ます。その場合は滞在費など日数に応じて変わります。興味がある方は、どうぞご連絡下さい。12月15日締切。会員のご家族、ご友人の方の参加も大歓迎。質問がある場合もご遠慮なくお問い合わせください。

◎ 関妙子 E-mail: taeko_seki@ybb.ne.jp Phone:03-5988-8785 Mobile:090-7192-4650

JSA 東京



東京本部でのDiscussion in Englishにて

東京本部ではスコットランドの文化を「知る」「学ぶ」「楽しむ」を深めて行くためにイベントの展開を図っています。

【文化講演】 「英國太平記」の著者小林正典氏をお招きしてスコットランドとイングランドの長い戦いの歴史とそれにまつわる興味深いお話によって、私たちは強くスコットランドの魅力にひきつけられました。

【Discussion in English】 「スコットランドと日本の比較」や「世界のTopics」などを題材に英語で討論する新しいスタイルの英会話教室には、若い人が中心に多くの人が参加しています。

【英会話教室】 簡単な日常会話や、海外から来た人に「東京を案内する時は?」など、話したり、考えたり、発表したりと楽しく英会話が進行中です。

【パブミーティング】 2か月に1度はお酒を飲みながらスコットランドの話に花を咲かせます。集合場所は「日比谷・タウンクライヤー」JSA会員でもある島啓祐さん経営のお店です。美味しいお料理とお酒でいつまでも話が尽きません。

JSA 中国



広島市内のパブにて

中国支部では、スコットランドに纏わる文化を通して、次のような活動をしています。

【パイプとバグパイプとスコットランドの会】 広島市内のバーにて、スコットランドと非常に密接な関係のあるパイプ・バグパイプ・お酒・食事を同時に味わい、スコットランドの魅力に触れてもらうイベントです。

【葉巻とスコットランドビールの会】 広島市内のバーにて、スコットランドの伝統的なビールと、葉巻とのマリアージュを楽しんで頂く会です。

【英会話教室】 英会話能力の習得と同時に、スコットランドの文化や日常を理解し、交流を図ります。

【パブ例会】 不定期に広島市内にあるパブにて、スコットランドになじみのある方、スコットランドが好きな方で集い交流を深めます。

編集後記

2012年10月27日、日本スコットランド交流協会がスタートして以来、現在140名を越す勢いで国内外に会員が増えています。

設立から1年、全員一丸となって展開して参りましたが2014年には、新たに特定非営利活動法人(NPO)『日本スコットランド交流協会』としてスタートを切ります。会員情報誌として年2回(8ページ)での発行を目指します。皆さまに愛されるJSAニュースレター「スコットランドの風」に、どうぞ暖かいご支援とご協力をお願い申しあげます。

編集長 野間 忠博



東京: 真々田 柴 / 大工園 佳代 / 柴田 文子 / 荒井 健太郎

濱田 真梨子 / 小嶋 冬子 / 幸地 康子 / レナート・リベラ

関西: 中川 ますみ / 山形 倫弘 / 香川 久生 / 鵜野 一成



日本スコットランド交流協会 The Japan Scotland Association

東京本部 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-28-1401 Tokyo Headquarters 3-12-28-1401 Shimo-ochiai, Shinjuku-ku, Tokyo 161-0033, JAPAN

関西支部 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町2-5-3-906 Kansai Branch 2-5-3-906 Shin-senri, Higashi-machi, Toyonaka-shi, Osaka 560-0082, JAPAN

中国支部 〒730-0814 広島県広島市中区羽衣町13-12 Chugoku Branch 13-12 Hagoromo-cho, Nakaku-ku, Hiroshima 730-0814, JAPAN

九州支部 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島2-23-2 Kyushu Branch 2-23-2 Kirishima, Miyazaki-shi, Miyazaki 880-0032, JAPAN